



グループに入れない子供

出席者 (発言順)

平井 信義
堀合 文子
松村 康平
水原 泰介
及川 ふみ
菊池 ふじの
津守 真
富平 美喜

平井 今日(今日)はグループに入れない問題児をとり上げました。此の子供は、二年間幼稚園で保育して、昨年の四月に小学校に入った子供です。初めに、此の子供がグループに入れないという例を、幼稚園で二年間受け持たれた堀合先生から、簡単に話して頂きますよう。

グループに入れない子

堀合 この子供が始めて幼稚園に来たのは、一学期の途中でした。と云いますのは、四月中は殆どお休みをして、その子が入ってきた時は、他の子供達同志は既に仲よく遊び出していた頃でした。それが、この子供が集団生活になじめなかった一つの原因だっただけです。そして、入園した当時など子供達がやって来た時に、いつまでも一人ぼっちで離れていました。多分、グループに入りたくないという欲望がありながら、友達に受け入れられなかったのでしょうね。五月一杯は皆と遊べず、唱歌も歌えず、一人で何かやっ

ていました。

平井 無理に皆の中に入れようと試みた事はありませんか。

堀合 仲間に入れようとして無理したことはありませんが、一人ぼっちでやっていることをやめさせてよんで来たと言ふことはありました。でも中に入っても勝手に絵本を読んだり、お仕事にしても一学期中はほとんど興味を持っていないようでした。

平井 泣くことはなかったか？

堀合 ええ、ほとんどありませんでした。お食事の時だけは進んで皆と一緒にいただきました。

平井 その他、此の子供についてとり立てて云うことはどんなことですか。

堀合 初めは始終いつの間にかいなくなってしまうので困りました。で、私はそのお子さんにただ何もしなくてよいかからお部屋の中か園の庭にいてくれればという事を一学期の目標に致しました。

平井 何処に行くんですか。

堀合 お母様の所に勝手に行ってしまうのです。それを追いかけてまわしたのでは他の子供が困りますので、私の見ている所で遊んで

くれさえすればと思つたのです。

平井 家では何んな様だったのかわかりますか。

堀合 はい、家では殆んど外に出たことが無かつたらしいのです。そんなもんですから幼稚園での遊びは、初めて経験した様なことばかりだったのでは無かつたかと思ひます。

つまり何と云いましようか、全く何もかも知らないと云うのですね。そしてお母さんとの結びつきは余り強くなく、また身体が弱かつたので、割合に大事にされていたようでした。遊びの面では、下の幼い子供さんと、女中さんとだけと遊ぶようでした。

松村 つまり、その子は幼稚園に来ても他の子と遊ぶということを知らないで、ただそれらを立って見ていたというのですね。

堀合 ええそうです。

平井 水原さん、今迄とり上げた問題児とは大分違ふようですね。

水原 そうですね。御近所から一緒に来た子はないのでしょうか。

堀合 はい。

平井 どうでしょうか。(及川先生に)保育の外でうろろろしているという、この種の

子は他にないんでしょうね。

及川 ええこれくらい極端なのはちよつと無いですね。

松村 保育の理想は一人一人の子の個性を伸すことにあると思ふんです遅れて入つて来た子にはすでに問題があるから、一般原則として単にわくの中で遊ばせるのは果していいのかな。

平井 その通りですね。そういう点では努力されませんでしたか。

堀合 ええ、その点でもずいぶん気をつけたのです。でも何としても逃げてしまいます。「幼稚園で皆と一緒に出来ない」と幼稚園に来られないのよ」などと、云つたこともありましたが、その言葉が利いているのか否か、反応がないのですね。

松村 子供の楽しさとかいうことがわからないのでしょうね。子供が遊園地などで楽しく遊んでいるのを見た事もないのですかね。

堀合 ええ、でもそのうちにわかつて来たのですが、此の子供の場合には楽しさがわからないのではなくて、幼稚園のいろいろな道具が珍らしくうれしくて仕方がない。今まで盲でいた人が初めて眼が見える様になつた程

人一倍面白いのではないかと私には思えたのです。そういう点で、普通のグループに入らない子供とは一寸違つてゐます。

菊池 そうですね。そう言えば始終幼稚園の庭隅やとり小屋、おじさんの部屋、物置、幼稚園中を歩き廻つていましたね。私はおばさんと呼ばれていましたのよ。

及川 ほんとうですね。私達の部屋にひよこひよこ入つて来て、ずっと見廻しているかと思ふと最後に「ばかやろう」と云つて出て行つたり、朝会つて「お早よう」などと声をかけても、だまつて下を向いて「ばかやろう」とつぶやいているのですね。暫くそれがつづきましたよ。(笑)

菊池 七月頃のことでしたが、皆で遊んでいた時、ピアノの下に小さくなって恥しがっていたときがありましたね。

平井 時にその子が興味をもっていたものは何んだつたと思ひますか。

堀合 外の砂場のつみ木でした。相当たつてから遊べる様になつたのですが。

平井 それほど家で単調な生活だったのでしょうかね。

堀合 私が推察するのに家では禁止されて

出席状態（罹病状態）

	年少組		年長組	
	出席日数 保育日数	欠席理由	出席日数 保育日数	欠席理由
4月	4/20	自家中毒 (入園前より)	10/19	風邪
5月	9/24	疲労	4/24	風邪
6月	17/25	疲労	8/23	疲労
7月	1/8	疲労	3/9	夏休中ひどい 自家中毒
9月	7/16	用心	8/17	
10月	10/26	風邪	11/26	疲労
11月	11/22	皮膚病 (しらくも)	8/22	
12月	11/19	皮膚病	8/22	風邪
1月	20/20	水痘 (お休中より)	14/20	試験のための用心
2月	20/25		9/24	
3月	4/0		9/10	

附記 持病の自家中毒があるので家庭でもひどく用心して寝務するとすぐ休ませていた

いた事が多かったのではないかと思うんですが。

津守 あの、ちよつと質問ですが（手にした参考資料を見て）このプリントに書いてある「発育」の所で、「幼児語が残る」、というのと、「大人の言葉を使う」、というのは何ん

な意味なのでしょう。

堀合 幼児語が残ると云うのは、家庭の方で書いたものです。大人の言葉というのは、例えば「わかるという」言葉を使うのに「理解する」というような言葉を使いました。確かに少し大人っぽい言葉を使いました。

智能程度

昭和26年7月10日	田中ビネー式	○始めから周囲の事に気が散っておちついて出来ない。種々誘導して少しづつ進行させたが、一つの問題を終りまでちゃんと答える事はない。点数の出しようがなかくとれなかつた。全然わからない事はない。引出して行くところまで出来る可能性がある。○数観念は全然理観できないようだ。
昭和26年11月12日	田中ビネー式	○生活年令 4才8ヶ月 ○智能年令 5才4ヶ月 ○I. Q. 114
昭和26年11月19日	乳幼児簡易テスト	○生活年令 4才8ヶ月 ○発達年令 5才4ヶ月 ○I. Q. 107
昭和27年9月29日	点数式個別智能検査	○生活年令 5才7ヶ月 ○発達年令 6才5ヶ月 ○I. Q. 115

津守 この生育歴をみると一日のうちでも父も殆んど家にいない。とすれば女中さんが余り教育的に望ましくなかったのではないでしょう。

平井 それとも人の交渉のない家庭だったのでしょうか。

堀合 女中さんにはよくなつていたようでした。

及川 とまかくはづかしがりやで私が出合ふと顔が合わないように横道にそれてしまうのですよ。お父さんもそんな方で、幼稚園にいらしても先生にあいさつをなさらずその子供さんの名前だけをよんでつれていくような方で、また、お家で、ラジオをかけていても自分の好きなものでないと消してしまわうらしいのです。御自分の勉強をすることだけ考えて、そのお子さんの教育の面をあまり考えてくれない面もある方なんです。社交的でない家庭と云えましょうね。

平井 これまでのお話して、大分、その子供の姿が浮き出て来ましたね。

津守 この子供を調査すると大分休みが多く普通の子供にしては休みが少し多過ぎますね。病気の為でしょうか。

堀合 とても疲れやすく病氣もすぐするし家が幼稚園から遠いので疲れるのでしょうね。またこの資料の中に書いてある「自家中毒をよく起すというのも疲れから来たのではないかと思うのです。お家でも、一学期、二学期は大分、身体に御注意なさったようでは

たが。

幼稚園になれてから

平井 夏休みが終ってから大分落着いてきたというのですが。

堀合 ええそうです。夏休みが終ってから、大分よくなり道具類の扱いでもゆりぎなどでも、割に皆と一緒に何が出来ようになつて、運動会の練習の時にも私が「皆と一生けんめいにやらねば恥かしいわね」とよく云い聞かせたものです。そんな頃から大分よくなつてきました。

平井 ほほう。では大分よくなったのですね。

堀合 ええ、とても良くなったと思います

平井 歌は？

堀合 歌はつまらないのでしよう。皆が唱つていてもうるさいと奇声を発し、耳をふさいでしまふ。でも一度歌を唱つたことがあつて「五月五日は……」という歌を一度うたつていました。それはレコードで前から知つていたようです。

平井 「流行歌」などは、

堀合 ええ、流行歌というほどのものはありませんが「何とか何とかがよい」とい

うところだけ知っていました。

平井 とにかく、一年をどうにか終つたのですね。そして一年間の教育を見ると初めよりはずつと終りの方が手が上つたのですね。

堀合 ええ、今では殆んど普通の子と同じ様に手をやかせなくなつたのですが、ただ絵がかけません。

平井 絵がかけないのですか。

堀合 絵を書くのが全然きらいなのです。でも一度皆が見ていなかった時に、黒板一ぱいに大きな「汽関車」をかき、それはとても無邪気な子供の良い絵でした。それに上手でした。

津守 それでは今迄絵をかく場合にはしゃーととくんとに書くのだったのですか
堀合 えのぐの時は良くたんねんに書くのですが、クレヨンの場合はおざなりにしてしまふのですね。

水原 時に熱心に、時におざなりにしてしまふので一寸見当がつけられませんか。

松村 その絵を見た時先生はどういう風にしましたか。

堀合 ほめてやりました。

松村 皆の前ですか？

堀合 いいえ、でもその後も一度えのぐをやった時、やはり汽車を上手に描いたので、この時は皆の前でほめてやりました。ほめてやると、とても嬉しそうな顔をしていました

水原 特定の子供と仲よくすることはありませんでしたか。

堀合 好きなお友達はだれと聞いた時「Tちゃん」をさして「この人だい」と云って、終始Tちゃんと仲よしでした。それ以外には特に特定のお友達もなかったようです。

松村 どの程度の交際だったのですか。

堀合 お家との間を遊びにいったり来たりしていただけのようでした。

菊池 ええ、幼稚園の砂場などでは一緒にTちゃんと遊んでいるのは見られませんでしたね。

堀合 でも、結局最後まで、他には友達も出来ませんでした。Tちゃんだけでした。

及川 お当番があったでしょう。その子か番にあたった時はどうでしたか。

堀合 とても責任を感じて、他の子供をさしずして皆に対して組長さんのような姿でやっています。それから小学校をとともあこがれていたんですね。よく小学校にいったり

強したいといっていると云っていました。

平井 では一応幼稚園の過程も最後になり小学校に上る時が近づいてきた頃はとうてい。

堀合 大きい組の三学期になるとすっかりおとなしくなっていました。少しあばれてほしい位でした。始めの頃、知らない間にお部屋から出てふらふらとどこかにいってしまったり、お部屋の中をあちらこちらきよろきよろと歩き廻っていた頃を考えますと、何だか可哀想な気もして、私の方が寂しくなるような感じも致しました。皆が、自分のことを、此の頃いい子になったというようになったので、自分でもそり思いこんでいたらしいです

小学校に入つて

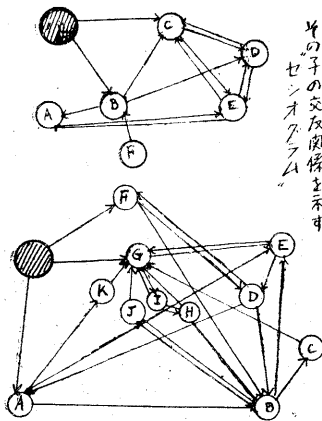
松村 それではこの辺で小学校に行つてからのことを小学校での担任の富平先生に伺いまししょう。

富平 ええ、私が小学校で〇〇ちゃんを受持ったわけですが、小学校に入つてからは、泣く事もないし、じっと坐っていますし、従順なよい子でした。学習の面で、少々呑み込みが悪いと云えるだけです。しかし智能が遅れているという事もなさそうだし、普通より

少し成績が悪いというだけでそんなに幼稚園で問題児となっていたとは全然知りませんでした。この間、その事を聞いて知ったままで……。ただ「好きな友達」と云うので一学期の終りに調査したら、その子を好きという人は一人もいなかったという結果が出たので、二学期にそれで気をつけてみますと誰とでも遊ばず一人ぼっちで椅子に座っているという状態でした。それで最近私もどうしてだろるかと考え始めましたが、はじめは全然気がつかなかったのです。それで二学期にもう一度同じ調査をしましたが、二度ともその子を好く子は居りませんでした。

平井 その理由は何んだと富平先生はお考

その子の交友関係を示す
センオグラム



えですか。

富平 まあ、クラスの中で三分の二が幼稚園から一緒であった子供達ですから、小学校に入ってからもお互にその子と遊ぶことを止めようとしてそのことを云い合うらしいのですね。

平井 そういち子供について、水原さん如何でしょうか。

水原 そんなこともありましようね。親が云えばそれを聞くでしょうし。

菊池 子供というものは皆、大人の様にかげ口を聞くというものでなく、嫌う場合は、或る感が伝わりますね。直感といいますか……。

松村 この資料を見ますと〇〇さんにいじめられたという人が七人ありますね。

富平 でも近頃は「〇〇ちゃんはおとなしい」とクラスの九十九パーセントまでの子供は皆云っていますので、おとなしいということとは確かなのです。でも誰れもその子とは遊ばないのですね。でもその後誰とも遊ばないと思っていましたら三人位とあそんでいました。それに皆に嫌われるのは、その子供がラジオ体操の時など殆ど皆とそろわないので

す。それに声が皆より一オクターブ位低く、そのため大人ぶって聞こえるらしいのです。三学期になっても体操と音楽は普通より成績が低くなりました。

及川 その子供は勉強が好きだったそうですがその後どうですか。

富平 一学期は字が正確にかけなかったのですが、しかし、勉強はお父さんが良く教えていられるらしいので、数学などは他の子供と同じか、それ以上によく出来ます。国語もかなづかいのテストをやったら四十八人中十八番で悪くありません。頭も悪くはなし、危害も加えず、他にしつけの面で手がかかるといふわけではありません。

及川 せんだってお母さんにお会いしましたら未だ大塚駅まで送り迎えているらしいのですね。今はどうですか。

富平 それは良くわかりませんが、今自家中毒で、又一週間位休んでいます。

津守 いろんな時列をつくって並ぶ場合がありますが、そんな時よくその子は並びますか。

富平 並びます。皆のやることは何でも良くなります。

津守 さき程、その子はてれたりはづかしがったりするのですがその後は如何ですか。

富平 少しもそんなことはなく、赤くもならないでちゃんとしています。学芸会の時、一語つづのせりふをいう様にいたしましたら一番大きな声ではっきり云いました。その時ほめましたらとても嬉しそうです。

この子供は何故グループに入れなかつたか

松村 言葉という要素が、友人関係の媒介としてうまくコミュニケーションがいかなくなつたというのが重要なことだと思えます。此の子供の場合、言葉に欠陥がある。

津守 その他の原因も重なっていますが、確かに言葉が原因になっているでしょうね。つまり言葉がお互につき合う上での重要な道具なのに、件の子供は子供同志で意志を交換させるための言葉を十分に操ることが出来なかつた。それから、声が極端に低いというのもハンディキャップですね。

松村 声が小さいとか、低いとかいふのは社会的にさまざまになる要素があるのでですよ。

水原 幼ない時から子供同志と遊ぶ機会を持たなかったということが、今までも皆と一緒に遊ぶ機会を見つけられないことの大きな原因になっているように思います。

平井 そうなるかどうかしても、家庭、父と母の問題があるような気がしますね。前にもいろいろ云われたように。

津守 此の子供は何と云っても、始終幼稚園を休む程体が弱かったということが、マイナスになっているように思いますね。やはり身体が弱いと注意力がつかず、疲労が早く来るので、遊びに入らな持統性がなく、先生としてもおしてゆくことが出来なかったと思うのです。

平井 その点でも確かに件の子は自家中毒というハンディキャップを持っていますね。

及川 普通、自家中毒というのはいつ頃まで続くのですか。

平井 普通は、五、六才までです。だからこの子の場合、じきに治るのではないかと思っています。

津守 それから、此の子供が小学校に入った時、先生から見た場合、特にこの子に問題が見られなかったが、先程の調査にあったよ

うに、子供達の間ではこの子が問題児になっているという点に、一つの問題があるのでしよう。

指導について

水原 こういう子はどいう風に指導したらいいかということですが。

及川 一般的に云ってこいう子供は、先生がとめて一緒に遊んであげます。その中に友達の中に入ってゆけるのが普通ですが、この人は遊べない時期が長いようでした。特に入園の時期がおくれたお子さんの場合は、急に馴れた人と一緒に遊ばせないで、先生がこの子と遊んでやっている中に入れてゆくようになるもので、毎年そうしています。

水原 誰か特定の人と仲よくさせて、それをだんだんひろげて誰とも遊べるようになるのもいいでしょうね。

及川 家が近いというような場合はささい合ったりして特定の仲よしが出来ますし、又親同志が知り合った仲の子供さんはじきに仲よくなり易いし、いろいろやってみるのですね。

水原 そういう子供を遊べるようにするのには、例えばシーソなどは一人では出来ない。

二人で共同にではなくては出来ず、又二人が親しくせざるを得ない。そういふ材料や器具類で良いものはないでしょうか。道具を仲介として友達を作るのはやりよいことだと思っております。

松村 紙芝居などの場合、右と左とに一人づつについて説明するといふような遊びではどうでしょうか。

水原 いいと思いますね。

及川 先生が「誰さんと誰さんは今日は何をしましょう」といふグループを作ってもいいですね。そんな場合積木などはどうでしょうか。今日はあなたとあなたは一緒に積木をやりましょう、というように……。

水原 それは実験してみました、なかなかむづかしいですよ。共同で遊べないので、すね。

平井 家庭への働きかけ、家庭の教育という点はどうでしょうか。

堀合 私は体のことなどについてよく注意して「出来るだけお休みなくいらっしやい」と、よく云いました。二学期になって家での態度が悪くなり、妹をぶつたりするようになつたとお母さんからききました。お母さんが

幼稚園でうんと叱って下さいなどと云われましたが、いろいろ試みて、おだてるのが一番効果があつたように思えました。

平井 家で悪くなったというのは、幼稚園の効果があつた証拠ですね。

水原 家庭への効果を期待して何か特別にその家に云ってあげたことがありますか。

及川 私の様子を年をとってしまふと何でも云えるのですが、畑合さんのようなやさしい方はとても心配して云えないんですよ。

—笑—

富平 母親が保護者会にもあまりいらつしやらないのです。女中さんが二、三回参観にいらした位です。

平井 お母さんが何かわくを持っていられるようです。

及川 自分のかたい教育方針をもっている人には、なかなかいろいろのことが云いにくいこともありますね。

水原 こういふ時、同じ様なケースの子供の母親の座談会をすると、話し合ひで妥協したり、案外効果があると思えますね。三木安正氏の実験がありますよ。

及川 (絵日記を見ながら) この日記はい

つやらせるのですか。

富平 夏休みや冬休みなどにやらせています。

及川 家でやらせるお手伝い場合があるでしょうから、今度学校でやらせてみたら。

松村 小学校で日記を通して母と話してみるのもいいだろうな。

津守 (冬の絵日記をよんで) 此の絵日記など、とてもよく出来ているし、何か特別なセンスがあるのかもしれないですよ。文などうまいもんですよ。

松村 こういふのは青年期に入ってから伸びる子かな。

平井 青年期に入ったら、一つ松村先生に指導して頂くんです。

津守 ではこの辺で終わりたいと思います。どうも有難うございました。

41頁より続く ○

小鳥の金額はまちまちであるが、三月末現在調査では別表の通りである。之等の鳥は近所の鳥屋で手近に購入出来る。

鳥小屋の広さと、収容羽数の関係は、参考として子供動物園の数を別表に記した。

小鳥とは云えない、ニワトリ、チャボ、アヒル、ガチョウの数も、保育施設等でも面白く扱えるであろう。

鳥の個体の良否鑑別も大切な事であるが、之は大変難かしく、詳細にわたつてお話し出来ないが、活潑に活動し、羽の艶が良く、下痢などの為に肛門附近の羽毛がよごれていないものなら、大体健康と見て良いと思う。

小鳥の疾病も、或程度研究されているもの、早期発見が難かしく、発見した時には既に手遅れと云う場合の方が多いため省略する。

○

この様に立体的な絵本を思わせる小鳥舎で小鳥を飼う事は大変楽しい。一つでも多くこんな施設が作られる様切望して止まない。又小鳥舎の近くにでも野鳥への施し物として、水飲器、給餌場、巣箱等を備え、近年極度に減少して来た野鳥を保護していただきたい。そして何年かの後には、手のとどく程の所で餌を無心に食べる所が見られる様に出来ないものだろうか。幼児の生活する所で、そんな情景が画き出されるとしたらどんなに良いだろうか。

(上野動物園飼育課)